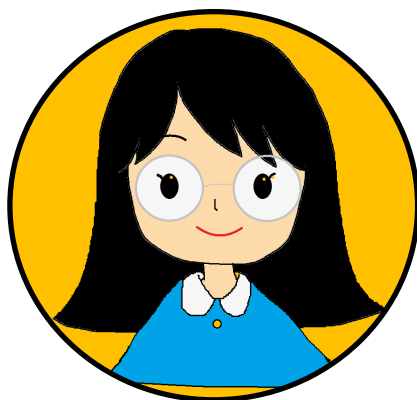


立会事務官になれますか？



N（H29年入庁）

検察事務官

ひと言メモ

通勤中にすれ違う大きな
ワンちゃんが日々の癒し



なれます。

私は採用後3年目のときに初めて立会事務官を経験し、副検事と2年間一緒に捜査をしました。

人によっては、1～2年目で立会事務官になる人もいますし、立会事務官として働く年数が長い人もいます。

「立会事務官は検察庁の花形」と言われることもあり、検察官と二人三脚で捜査・公判を遂行するのでマルチな能力を求められる業務ですが、充実感もひとしおです。

立会事務官として働いた2年間で特に印象深いのは、否認事件で被疑者の供述が嘘だという証拠を見つけて、その後の取調べで被疑者が自白に転じたことです。

膨大な防犯カメラ映像を検察官と二人で確認して、被疑者の数時間の行動を全て追い、供述と矛盾する瞬間を見つけ出しました。

被疑者が自白した後の検察官の達成感に満ちた表情は、今でも忘れられません。

立会事務官になる前には先輩事務官などから研修を受けたり、業務内容の勉強ができる機会もあり、周囲のサポートも充実しています。